

西日本豪雨災害における学生ボランティアチーム派遣プロジェクト

一次報告 ～東広島～

平成30年7月31日

報告者：学生ボランティア団体OPERATIONつながり

プロジェクト概要

7月5日に発災した西日本豪雨災害について、当団体は、NPO法人IMAGINUSとの連携・広島大学による支援のもと、①被災状況把握、②学生ボランティア派遣活動、③ボランティアセンター(以下ボラセン)運営補助活動で、被災地支援活動の初動・立上げを実施。本資料は、現在当団体が上記のような包括的支援を実施しており、さらに今後も支援を継続していく予定の東広島市における活動について報告を行うものである。

活動概要

活動期間：7月7日～現在 活動地：東広島市

日程	東広島市の動き【課題】	活動詳細
7月7～10日	・東広島市ボラセンの立ち上がり 【運営人員不足】	・大学への支援依頼 ・資機材・物品の確保 ・物資支援 ・現状把握活動(写真①-1,2) ・ボラセンとの協力体制構築
7月11～12日	・ボラセンでの広大生のみボランティア受付開始 【運営体制確立】	・協力団体との連携・調整 ・学生ボランティア募集・調整 ・ボラセン運営補助36人(写真②) ・学生ボランティア参加 150人
7月13～16日	・一般ボランティア募集開始 ・ボランティア対応・分配 【遠方支所との連携】 【ボランティア過多】	・ボラセン運営補助64人 ・学生ボランティア参加 約370人(写真③)
7月17～現在	・同上 【安芸津支所の人員不足】 【ボランティア減少】	・安芸津支所との協力体制構築 ・ボラセン運営補助77人(安芸津支所への派遣含む) ・学生ボランティア参加 ・他団体コーディネーター:7人(東北大学・神戸大学) ・長期支援策の試験的实施(足湯・農地支援)

今後の活動計画

◎短期目標 夏季休業期間における広大生対象のボランティア派遣の継続実施（～9月頃。50名/日の派遣を目標とする）

→【要望】東広島への継続的な派遣を行いたいため、資金・広報の面での支援をお願いしたい。

今後は大学に要請のあった竹原市やその他周辺の地域へのボランティアバス派遣も検討している。

◎長期目標 東広島を中心とした長期的ニーズへの対応：ソフト支援、農地支援、地域のコミュニティ形成(交流会等の実施)等

《活動写真》



-1



-2

